

学習内容報告書 フォーマット

学校名	南あわじ市立沼島小学校
授業者	市原 清司

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

沼島の海に親しもう

1-2. 学年

1・2年（複式学級）

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科

1-4. 単元の概要

生活科の時間に、自分の住んでいる地域の「じまん」を見つける活動を行う。きれいな沼島海水浴場など、海に関係する場所が多数出てくる。それらを他校に紹介することを通して地域の豊かな自然である「海」についての関心を高め、愛着を持てるようにする。紹介する際は、いかにその「よさ」が伝わるかを考えて表情豊かに紹介して、表現力を高めることとする。

また、より沼島の海を楽しむ活動として生活科で「カヌー体験」を行う。子どもたちは海に囲まれて住んでいながら、海水浴以外、あまり海を楽しむ機会がない。「カヌー体験」を行い、海の楽しさを感じさせる。

さらに、海の恵みを体感するために「魚料理体験」を実施する。地元で捕れた魚を、講師である漁師さんの手ほどきで、子ども自身が魚を1匹さばく体験を行う。魚をさわる経験が少ない児童が、料理を通じて魚にふれて、親しむ機会として設定している。さらに、環境体験学習として、「海釣り体験」を行う。沼島の海の恵みを感じることが豊富な水産資源である。自ら釣り上げることで、それを実感し、海の楽しさを感じるようにする。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

身近な沼島の海の生き物に関心を持ち、海に対して親しみを持つことを目的とする。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

沼島の海を楽しんだり、親しんだり、調べたりすることで、住んでいる沼島に対する愛着心を育てる。
これからも沼島の海に親しんでいこうとする主体的な態度を育てる。

1-7. 単元の展開（全 12 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
5	<p>【生活科】</p> <p>沼島の地域の「じまん」を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で海に関係するものを調べる ・他校へ紹介する原稿をつくる ・動画で撮影する（伝わりやすさを考えて） ・他校から評価をもらい地域のよさを再認識する 	<p>教師の指導／海に関係するものが多いことに気づかせる。</p> <p>外部連携／地域の方に取材をしてどんなところがいいかを聞く。</p> <p>使用教材／ビデオカメラ（iPad）</p> <p>評価／地域のじまんを分かりやすく紹介できたか。</p>
4	<p>【生活科】</p> <p>沼島の海を楽しもう（カヌー体験）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バディの意味を知る。（安全面の指導） ・カヌーの漕ぎ方を知る。 ・カヌーの乗り方を知る。 ・カヌーに乗り進む・ ・カヌーの楽しみ方を工夫する。 	<p>教師の指導／安全指導・救命胴衣の着用</p> <p>外部連携／カヌー指導員からバディを組む意味、漕ぎ方などを教えてもらう。</p> <p>使用教材／カヌー4艇・救命胴衣</p> <p>評価／友だちと協力してカヌーをこげたか。カヌーに楽しんで乗れたか。</p>
2	<p>【生活科】</p> <p>沼島の海のめぐみ（魚料理体験）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚の料理方法を知る。 ・自分で魚を料理する。 ・料理したものを食べる ・感想をノートに書く 	<p>教師の指導／安全指導・児童の指導補助</p> <p>外部連携／沼島漁業協同組合の方に来ていただき指導いただく。沼島でその日に獲れた魚を持ってきてもらい、調理の仕方を教えていただく。</p> <p>使用教材／包丁・調理ばさみ・まな板・地元の魚</p> <p>評価／自分で魚をさわって、調理体験ができたか。</p>
3	<p>【生活科】</p> <p>釣りをして沼島の自然と触れ合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釣り体験 ・魚の名前を知る ・魚の色・形の観察 	<p>教師の指導／安全指導と釣り方の指導。救命胴衣の着用</p> <p>外部連携／地元の方に来ていただき釣り方の指導をしていただく。</p> <p>使用教材等／釣り具セット・救命胴衣</p> <p>評価／自分の釣った魚をさわって、親しむことができたか。</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

沼島の地域の「じまん」を考えよう。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 沼島地域には、他の人に「じまん」できるものには何があるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水浴場、上立神岩・・・ ・海に関係するものが多いことに気づく。 ・沼島のじまみを1つ決める。 <p>■反応 「海水浴場がある」 「遠足の時にいっぱい貝殻を拾った。」 「上立神岩は、いっぱい観光客が来ている」 ※今までの経験から、人が多く集まっている場面や自分の自慢したいことを発言する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで遠足などに行ったときに立ち寄った場所など 沼島の地域資源を思い出すように支援する。 ・見るものだけでなく、食べ物にも気づくようにする。（鱧やアジなどの地域の産物） <p>■評価の視点 沼島のじまんについて自分なりに考えることができたか。</p>
<p>2 その中で特に紹介したい沼島の「じまん」を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人グループになるように割り振る。 ・選んだ理由を発言させる。 ・自分がどんな関わりをしているかも考えさせる。 <p>■反応 「海水浴場を選んだ訳は・・・」 「よく夏に遊びに行きます・・・」 ※自分との関わりが思いつかない場合は、他の人に聞いてみて、参考にさせる。 ※次時には紹介の原稿を作ることを告げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけたくさん出させて、その中から選ばせる。 ・自分との関わりが出にくい児童については、写真を提示するなどして想起させる。 <p>■評価の視点 自分の地域の中から「じまん」を選び、理由を言うことができたか。</p>

3. 今回の活動の自己評価

4つの活動を行ったが、身近な海を楽しみ、それを紹介するということを体験した。主に体験活動を中心として行ったが、本校の課題である「表現力の育成」を目指して、他校へ沼島の海を紹介する場面も設定した。自分の地域のよさを紹介するため、たいへん意欲を持って発表を行うことができて、目標を達成することができた。

さて、体験と他校への紹介を通じて、沼島の海に対して愛着を持ち、また、ゴミを拾って環境についても考えたことから、これからも「じまんの海」を守っていこうとする気持ちを作ることができたと考える。

1つ目の「ぬしまのじまん紹介」は、自分の地域のよさ、海がきれいで海産物も豊富ということに気づき、地域に愛着を持つきっかけとなった。

また、「釣り体験」では、全員が1匹は釣る体験ができて、海の恵みについても感じることもできた。自分で釣った魚をさわって、豊かな自然を感じ、ふれあうことができた。カヌー体験は、今年で2年目であるが、子どもたちは本当に楽しみにしている活動で、「海を楽しむ」という点では目標が達成できた。どの子どもも意欲的に活動ができていた。

4. 今後の課題

今回は、2年目の活動もあり、昨年度と比べいかに違いを出して、進化させ学習していくかが課題であった。カヌーにしても、2年目であるので、ただ漕ぐだけではなく、今度は友だちと協力して、いっしょに活動することのよさをもっと感じさせるなど、目標の持たせ方を変える必要がある。本年度、少しできた点もあるが、まだまだ工夫が必要であると考えます。

次年度以降も教職員で一致団結して、この活動に取り組み、アイデアを集めて、さらに活動の幅を広げていくことが大切であると考えます。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

6. 実践写真 【ぬしまの「じまん」を紹介しよう】



11/8 交流学習 画面の向こうには奥尻小学校の児童が見えます



沼島港(上)海水浴場(下)の紹介をしています。現地に行って動画を撮影してきました